

19号建物廻付帯舗装補修工事

工 事 名	19号建物廻付帯舗装補修工事	図面番号	1/4
種 別	表 紙	縮 尺	図 示
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊管理科			

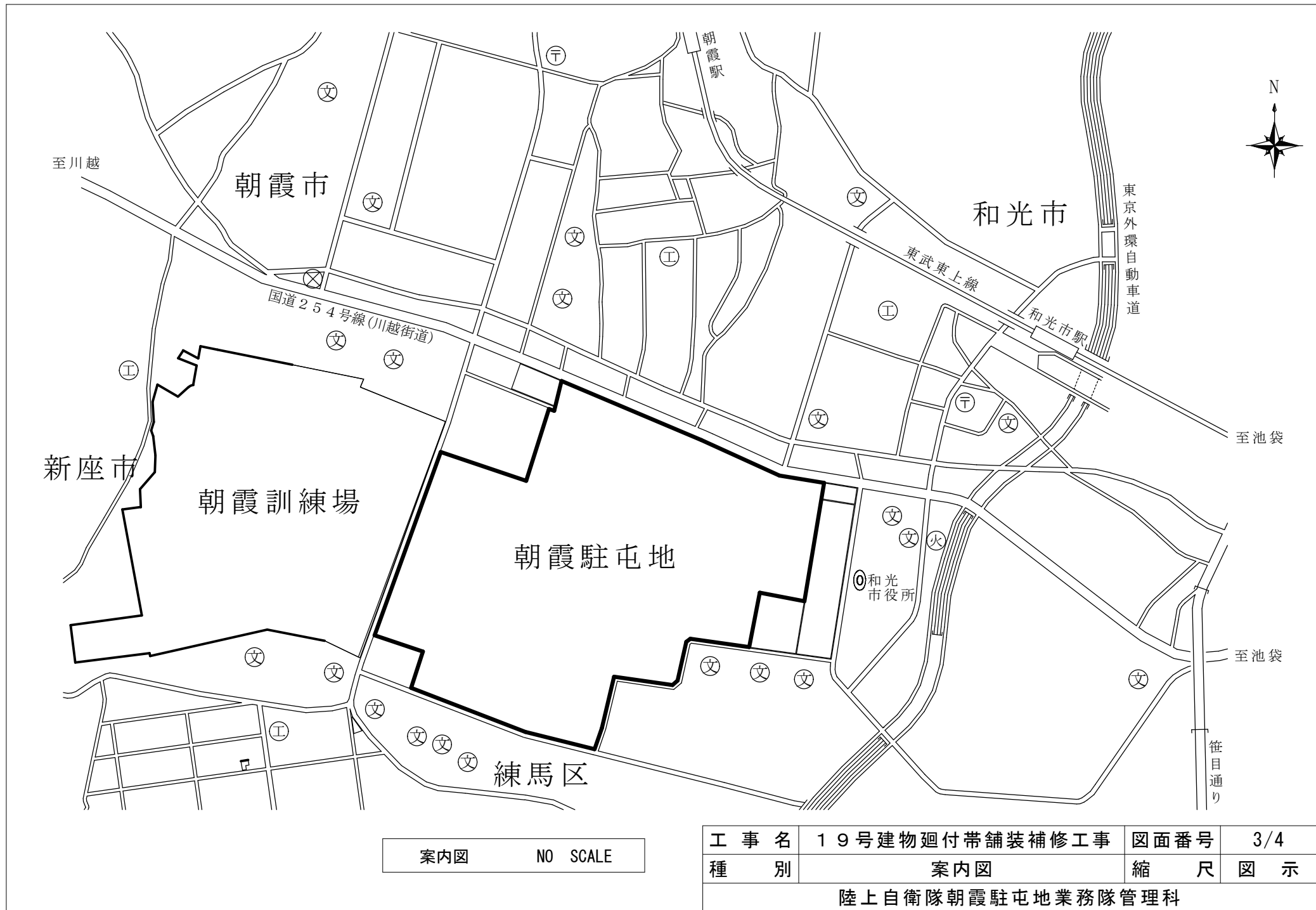
工 事 仕 様 書

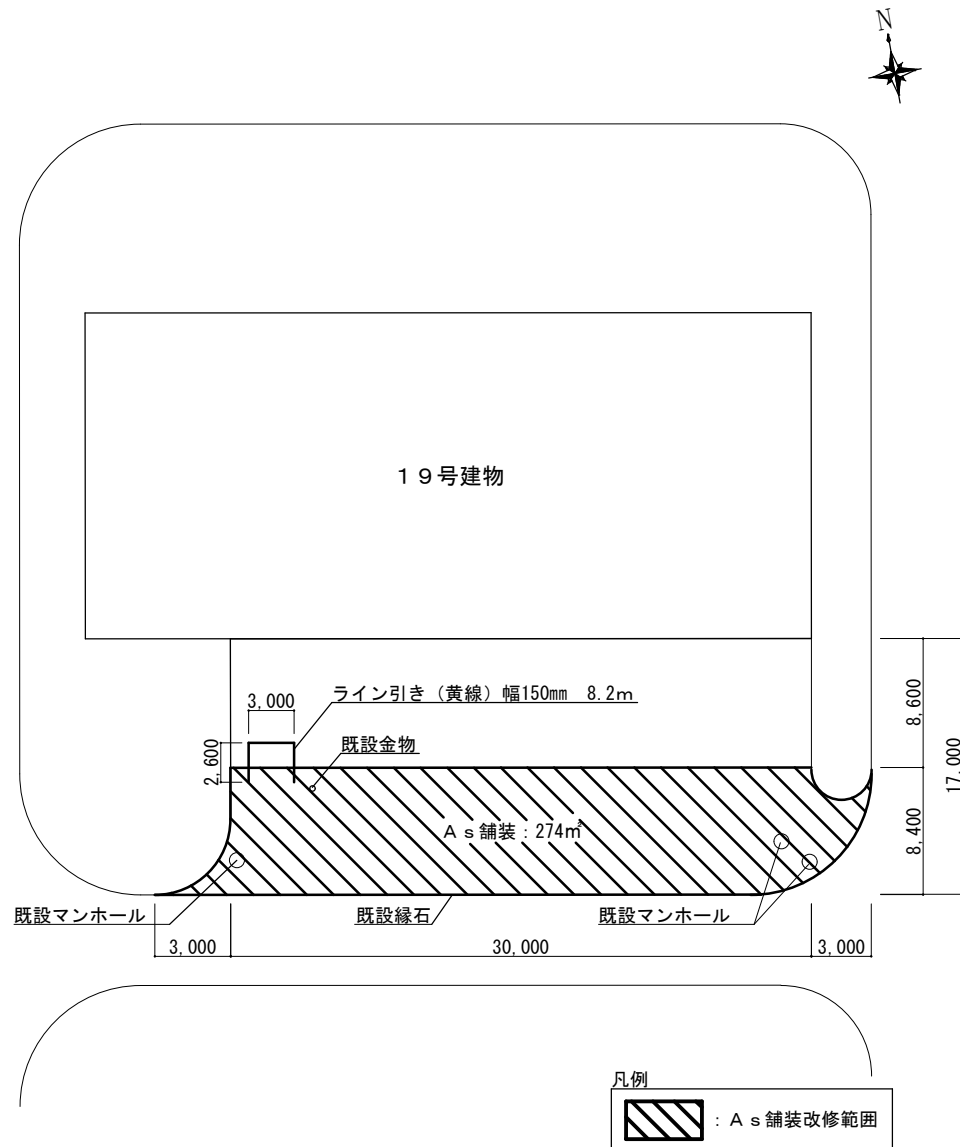
- 1 工 事 名：19号建物廻付帯舗装補修工事
- 2 工事場所：東京都練馬区大泉学園町 陸上自衛隊朝霞駐屯地
- 3 工事概要：(1)AS撤去工事1式
(2)AS舗装工事1式
(3)区画線工事1式
- 4 一般事項：本工事は、本特記仕様書によるほか国土交通省制定「公共建築工事標準仕様書」（現行版）による。

一 般 共 通 事 項	
項 目	細 部
1 協 議	本仕様書及び図面に質疑が生じた場合には、監督官と協議を行い指示に従うこと。
2 軽 微 な 変 更	現場の収まり等により軽微な変更の必要性が生じた時は、監督官と調整しその都度指示に従うこと。ただし、請負金額・工期等の変更は行わないものとする。
3 復 旧 ・ 補 償	工事実施に際して、隊員及び部外者等に障害等を与えた場合又は施設等に損傷を与えた場合は、請負者の責任において復旧及び補償すること。
4 使 用 材 料	使用材料は仮設材を除き全て新品とし、監督官の検査を受け合格したものを使用する。
5 現 場 管 理	請負業者は現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理を行い、防災に努めること。また、危険性のある場所には、危険標示等の処置を行うこと。
6 立 入	工事現場及び許可された場所以外への無断立入り等は厳禁とする。工事入門に際し駐屯地の規則及び監督官の指示を厳守するものとし、指定された場所以外への立入りを禁止する。敷地内への関係者の立入は日本国籍を有する者とする。
7 工 事 写 真	工事写真は、工事の着工前・完成及び施工後隠蔽となる箇所・主要な工事段階の工事状況・使用材料・その他監督官の指示するものをサービス版サイズで整理し、1部を提出するものとする。
8 書 類 手 続	工事に必要な申請及び提出書類は官側の示す規格様式で作成し契約納期までに提出すること。また、使用材料の出荷証明書・性能保証書を1部提出すること。 官側の求めに応じ、必要書類を迅速に提出すること。
9 秘 密 厳 守	工事実施によって知り得た内容に関して監督官の許可なく漏洩してはならない。
10 発 生 材	金属類発生材は関係書類提出後監督官の指示する場所に集積する。その他は全て廃棄物の処理及び清掃に関する法令に基づき処理すること。なお、その結果を書面（マニフェスト等A、B2、D、E票）にて提出すること。
11 後片付け・清掃	工事完了に際して作業現場の後片付け及び清掃を行うこと。
12 電気・水の使用	工事に使用する電気及び水等は請負業者にて準備すること。

特 記 事 項	
項 目	細 部
1 撤 去 工 事	・舗装の撤去は舗装打替工法とし工事の際は、既存施設に損傷を与えないよう十分注意して作業を行うこと。また万一損傷を与えた場合は責任を持って復旧するものとする。
2 舗 装 工 事	・既設アスファルト撤去後、路盤面の不陸調整を実施する。 ・アスファルト打設施工前にゴミ等の有害物を除去し、舗装を実施するものとする。 ・既設舗装の継目等の接合面には乳剤を散布するものとする。 ・加熱アスファルト混合物を敷き均したときの混合物の温度は、110℃以上とする。 ・加熱アスファルト混合物を敷き均した後、締め固め機械等を用い締め固めるものとする。 ・敷き均しに際し、雨天時及び路盤が湿っている時並びに日平均気温が5℃以下の時は、基本的に打設しないものとする。 ・既設アスファルトとの継目については、十分に留意するもの。
3 区 画 線 整 備	・区画線は溶融式を基準とし施工（清掃・プライマー塗布・塗料塗布）するものとする。
4 使 用 材 料	・アスファルト混合物は、改質2型密粒度アスコン（密粒度13）及び、改質2型粗粒度アスコン（粗粒度20）とする。 ・アスファルト乳剤は、タックコートPK-4及び、プライムコートPK-3とする。
5 施 工 条 件	・施工は土日祝日に行うこと。ただし12月24日～1月13日は施工を行わないこと。
6 そ の 他	・本工事が確実に完了した証明として、機能補償を自然災害を除き工事完了後1箇年とする。

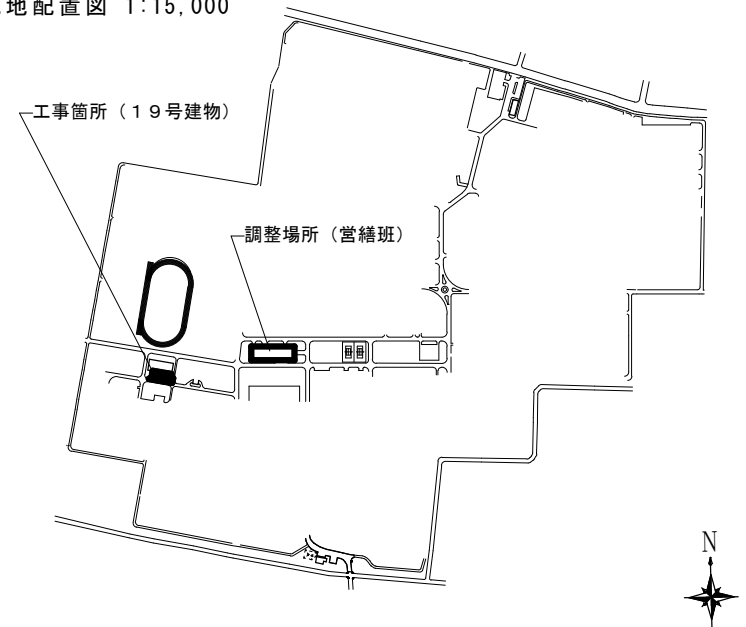
工事名	19号建物廻付帯舗装補修工事	図面番号	2/4
種 別	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊管理科			





アスファルト舗装平面図 1/X

駐屯地配置図 1:15,000



アスファルト乳剤込み、不陸整正込み

This diagram shows the vertical structure of existing asphalt pavement. It is divided into three main layers: a top asphalt layer (50mm), a base layer (50mm), and a subgrade (50mm). Below these is a lower subgrade (250mm) and a bottom layer (150mm). The layers are labeled with their respective materials and thicknesses.

層名	材料	厚さ (mm)
表層	再生密粒度アスコン	50
基層	再生粗粒度アスコン	50
上層路盤	M-30	50
下層路盤	C-40	250
遮断層	砂	150

アスファルト舗装構成図（既設）

This diagram shows the vertical structure of proposed asphalt pavement. It includes a top asphalt layer (50mm), a base layer (50mm), and a subgrade (50mm). Below these is a lower subgrade (250mm) and a bottom layer (150mm). The layers are labeled with their respective materials and thicknesses. A callout box indicates that the top two layers are to be modified.

層名	材料	厚さ (mm)
表層（改修）	改質2型密粒度アスコン(13)	50
基層（改修）	改質2型粗粒度アスコン(20)	50
上層路盤 (既設のまま)	M-30	50
下層路盤 (既設のまま)	C-40	250
遮断層 (既設のまま)	砂	150

アスファルト舗装構成図（改修）

工 事 名	19号建物廻付帯舗装補修工事	図面番号	4/4
種 別	工事箇所 平面図・構成図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊管理科			